

事例 6 「話すこと・聞くこと」における共通点や相違点に着目して考えをまとめることをねらった事例

○学年 第3学年

○主な領域 [思考力, 判断力, 表現力等] A 話すこと・聞くこと

○事例のポイント

- ① ICT端末の活用を通して、学習履歴を残し、いつでも学びを振り返ることができるようにする。
- ② 毎時間話合いの時間を確保し、スモールステップで、話合いの技能を高めていく。
- ③ 教科等横断的な視点を取り入れ、学級活動につなげる。国語科ではグループごとに話し合ってみて、学級活動ではクラス全体で話し合ってみて2学期の係として決定する。

ICTを活用した主な学習場面

・話合い活動の様子をタブレットで記録し、振り返る場面

ICT活用の利点

- ① 話合いの様子を振り返り、それぞれのグループのよい点などを全員で共有できる。
- ② 話合いの様子を見返し、教師の評価と支援に役立てることができる。

1 **単元名・教材名** グループで話し合ってみて、考えをまとめよう「こんな係がクラスにほしい」

2 **児童の実態と本単元の意図**

本学級の児童は、5月に実施した「もっと知りたい友だちのこと」の単元で、相手を見て話をしたり聞いたりし、相手をもっと知るために、たくさん質問をして話を広げる学習をした。グループ内でよく聞いた後には、まとめとして内容を絞り、クラス全体にグループ内の友達のことを伝えて共有した。グループ内での対話では、話合いの内容が自分の伝えたい身近なものであり、全員が順番に発言したので、進んで話したり質問したりすることができた児童が多かった。しかし、本単元での話合い活動は、「考えを出し合う活動」と、「考えを一つにまとめる活動」が盛り込まれており、理由や根拠を基に自分の意見やグループでの意見をまとめること、自分の意見や友達の意見の共通点や相違点に着目して考えをまとめることなど、自ら進んで発言することや高度な話合いの技能が求められる。学級会などで積極的に意見を発表できない児童もいるので、難しさを感じている。

本単元では、クラスに必要な2学期の係という話題について、グループで話し合う活動が中心となる。目的や進め方を確認して話し合う活動を通して、話題に対する自分の考えとそれを支える理由や事例を把握しながら、互いの意見の共通点や相違点に着目して考えをまとめる技能の育成を目指す。毎時間話合いの時間を設け、段階を追って様々な目的の話合い活動を経験し、話合いの技能を高めていけるようにする。

指導に当たっては、共通点や相違点に着目して考えをまとめる力を育成したい。そこで、付箋を活用して、自由に操作しながら、思考を整理できるようにすることで、グループ全員が話合いの進行状況などを視覚的に捉えられるようにする。話合いの場面では、本校で活用している話合いの型を利用しながら、輪番で司会を経験してスムーズに進めたい。また、本学級は児童数が多いため、教室と図書室に場所を分け、自分のグループの話合いに集中できるようにする。その際には、話合いの様子をグループごとにタブレットで記録しておき、後で振り返ることができるようにする。共有の場面などではプロジェクターで大きく映し出して学級全員で確認する。さらに、振り返りで児童から出た、話合いのポイントを教室に掲示し、各教科における今後の話合い活動の際のヒントとする。そして、単元の終わりには、それぞれのグループで一つにまとめた係を学級会で提案するため「提案シート」にまとめ、教科等横断的な視点も取り入れることによって、学習の深化を図る。学級会では、それぞれのグループが、自分たちの考えた係をプレゼンテーションし、学級全体で話し合いながら2学期の係を決定し、実際に活動していく。

3 単元の目標

- (1) 考えとそれを支える理由や事例について理解することができる。 〈知識及び技能〉 (2)ア
 (2) 目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。
 〈思考力、判断力、表現力等〉 A(1)オ
 (3) 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いやりや考えを伝え合おうとする。
 〈学びに向かう力、人間性等〉

4 単元における言語活動

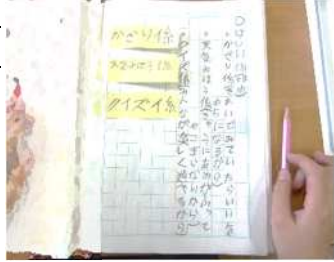

互いの考えを伝え合うなどして、グループや学級全体で話し合う活動。



(関連：言語活動例ウ)

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 考えとそれを支える理由や事例について理解している。((2)ア)	① 「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認して話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめようとしている。 (A(1)オ)	① 進んで互いの意見の共通点や相違点に着目して意見をまとめ、学習の見通しをもってグループで話し合い、考えを整理してまとめようとしている。

6 指導と評価の計画 (全3時間扱い)

時	主な学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価
1	<ul style="list-style-type: none"> ○単元を見通し、ゴールを確認する。 ○学習の目的や進め方を知る。 ○自分の考えをもち、グループで伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○課題の設定の仕方 ○既習事項 ○自分の考えのまとめ方 <p>編P36 指導計画作成の留意事項(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○振り返りの仕方 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習の流れや、グループで考えた係を学級会でプレゼンするというゴールを明確にし、児童が意欲をもって話し合いに臨めるようにする。 ○理由や根拠を基に自分の考えを発言できるように、ノートに書き、<u>付箋</u>に書き出すよう促す。  <ul style="list-style-type: none"> ○グループ全員の考えを肯定的に受け入れることを確認する。 ○出された意見について、質問したり、考えを足したりして考えを広げるようにする。
	<p>事例のポイント① グループごとにICT端末を活用し、<u>毎時間の話し合い活動の様子を学習履歴として残す</u>。2、3時間目の導入で、前時の振り返りとして、考えのまとめ方や折り合いのつけ方などをクラス全体で共有するなど、活用していく。</p> 		<p>【知識・技能①】 <u>発言・提案シート・振り返り</u> ・自分の考えた係について、適切な理由や根拠を基に発言できているかを確認する。</p>

<p>2</p> <ul style="list-style-type: none"> ○前時の振り返りをする。 ○学習の目的や進め方を確認する。 ○グループで、考えを比較し分類する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○グループでの考えのまとめ方 <ul style="list-style-type: none"> ・共通点や相違点に着目すること ・比較し分類すること ・折り合いをつけること ○振り返りの仕方 	<ul style="list-style-type: none"> ○司会や提案などの役割を果たしながら話し合うようにする。 ○付箋を自由に動かして周りに書き込みながら、<u>それぞれの考えを比較し分類して、内容ごとに仲間分けをするよう促す。</u>  <p>【思考・判断・表現①】 <u>発言・付箋・振り返り</u> ・目的を意識して話し合い、互いの意見を比較したり、分類したりしているかを確認する。</p>
<p>事例のポイント② 毎時間話し合いの時間を確保する。1時間目は考えの出し合い、2時間目は考えの比較・分類、3時間目は考えの共通点や相違点に着目して考えをまとめる話し合いを行い、スモールステップで、話し合いの技能を高めていく。</p>		
<p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> ○前時の振り返りをする。 ○グループで、考えを一つにまとめる。 <p>○決まったことを整理する。</p> <p>○話し合いでの大切なことをまとめる。</p> <p>○単元の振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○グループでの考えのまとめ方 <ul style="list-style-type: none"> ・共通点や相違点に着目すること ・比較し分類すること ・折り合いをつけること ○提案シートの書き方 ○振り返りの仕方 	<ul style="list-style-type: none"> ○タブレットで話し合いの録画を見て、それぞれのグループのよかったところを共有する。 ○司会や提案などの役割を果たしながら話し合うようにする。 ○付箋を自由に動かして周りに書き込みながら、それぞれの考えの共通点や相違点に着目し、グループの考えをまとめるよう促す。 <p>【思考・判断・表現①】 <u>発言・付箋・提案シート・振り返り</u> ・常に目的や進め方を確認して話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめようとしているか確認する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度①】 <u>発言・振り返り</u> ・それぞれの意見を比較し分類して付箋を動かし、共通点や相違点を見つけて、まとめようとしているか確認する。</p> <p>○学級会で提案できるように、「係の名前」「なぜその係がクラスに必要なのか」(目的)「例えばどのような活動が考えられるか」(仕事)についてまとめ、根拠をもって説明できるようにする。</p>
<p>編P36 指導計画作成の留意事項(2)</p>		
<p>事例のポイント③ 教科等横断的な視点を取り入れ、学級活動につなげる。本時で作成した提案シートを活用して、学級会でグループごとに係を提案していく。</p>		
		
<p>編P36 指導計画作成の留意事項(3)</p>		
<p>事後指導：教科横断的に学級会で話し合う場面</p>		

7 本時の学習指導（本時 3 / 3時）




(1) 目標

- 目的や進め方を確認して話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。 〈思考力、判断力、表現力等〉 A(1)才
- 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いやりや考えを伝え合おうとする態度を養う。 〈学びに向かう力、人間性等〉

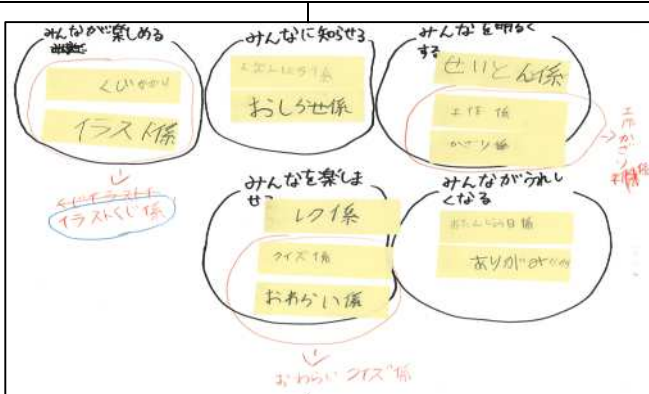
(2) 評価規準

- 「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認して話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめようとしている。 【思考・判断・表現】
- 進んで互いの意見の共通点や相違点に着目して意見をまとめ、学習の見通しをもってグループで話し合い、考えを整理してまとめようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】

(3) 展開

学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価	時間
1 前時の学習を振り返る。 	○話し合いのよかった点	○ICT端末に記録した前時の話し合いの様子を見ながら、よかった点を全体で振り返る。	4
		ICT活用の利点① 話し合いの様子を振り返り、それぞれのグループのよい点などを全員で共有できる。	
2 本時のめあてを確認する。	グループで考えを一つにまとめて、提案シートを書こう。		1
3 考えのまとめ方を共有する。	○グループでの考えのまとめ方 ・共通点や相違点に着目すること ・比較し分類すること ・折り合いをつけること	○児童が使うものと同じ紙や付箋を用意して説明し、視覚的に理解できるようにする。 	5
4 考えをまとめる話し合いをする。決まったことを提案シートに書いて整理する。	○提案シートの書き方 編 P36 指導計画作成の留意事項(2)	○司会や提案などの役割を果たしながら、話し合いの型を活用して話し合うよう促す。 	23
		○視覚的に分かりやすくなるように、付箋を自由に動かし、色分けしながら付箋の周りに書き込むよう促す。 ○内容の似ている係は、グループで話し合って、合体したり新しい係を考えたりしてもよいことを伝える。 ○学級会で根拠をもって提案するために、グループごとに考えた係を提案シートにまとめるようにする。	
話し合いの型は、発達段階や話し合いへの慣れに応じて使用する。最初は進行表に沿って、徐々に話し合いの目的に応じて適切に使用するよう指導する。			

話し合いのながれ	一つの意見にまとめる	3-4時限
司会 ①これから「……」について話し合いを始めます。よろしくおねがいします。	司会 紙作 →よろしくおねがいします	
②○○さんから、自分の考えを言ってください。	→わたしは、……と考えました。なぜなら……だからです。 →○○さんについて、/○○さんと同じで……と考えました。	
③しつもんや感想がありますか？	→……のときには、どうすればよいのですか。 →……がよくわからないので、教えてください。 →すごくわかりやすいです。	
④考えのしているところはどこですか？	→○○さんと○○さんの考えがにている。……と書いているからです。	
⑤どの考えがよいですか？	→○○さんの考えがよいと思います。なぜなら……だからです。	
⑥わたしたちのぼんは、「……」という意見がよいですか？	→よいです。	
⑦これで話し合いを終わりにします。ありがとうございました。	→ありがとうございました。	



【意見シート】 (3名 組)

① 授業が終わって、グループで話し合ったことを、みんなに発表しよう。

② 発表の順番 (1人1人) イラストくじ 係

③ 話し合いの目的、上級生がやるべきことなど

クラスみんながどんな時も楽しく生活できる。

④ 発表 (1人1人) 話し合いの目的、上級生がやるべきことなど

たうや2とうなどの、いろいろなくじを作る

題に3回はやる。

⑤ 感想文、アザの絵を描いて (アザの絵を描いて)

くじのほかにイラストを書く。(めだたせろわに)

【意見シート】 (5名 組)

① 授業が終わって、グループで話し合ったことを、みんなに発表しよう。

② 発表の順番 (1人1人) クイズなぞなぞ係

③ 話し合いの目的、上級生がやるべきことなど

みんなが楽しく生活できるようにするから。

④ 発表 (1人1人) 話し合いの目的、上級生がやるべきことなど

クイズとせいかいをして、おもしろいものを作る。

せいかいで遊んで楽しくする工夫をする。

⑤ 感想文、アザの絵を描いて (アザの絵を描いて)

みんなからクイズとせいかいをするものを決めて発表する。

編 P36 指導計画作成の留意事項(3)

5 本時のまとめをする。

○まとめの仕方を

〈期待される児童のまとめ〉
 考えをまとめる話し合いをする時は、それぞれの意見の似ているところや違うところに着目してグループ分けをしたり、合体したりして、よりよい考えにまとめるとよいことが分かった。

6 話し合いの振り返りをし、学級活動へつなげることを確認する。

○振り返りの仕方を

○振り返りシートには、項目ごとに丸を付けるものと、文で書くものを用意し、様々な角度から振り返りができるようにする。
 ○よかったところと課題の両方を発表して共有することで、今後の話し合い活動に生かしていく。

〈期待される児童の振り返り〉

- ・私の班は、クラスを明るくするところが似ていたので、○○係と△△係を合体して○○△△係にすることが決まりました。似ているところに気を付けたら、グループ全員で納得して決めることができました。
- ・「クラスみんなが学校生活をもっと楽しく過ごせるように」という目的を意識して話し合いました。意識したら、目的からずれないで話し合えたので、目的は大事だと思いました。
- ・意見がまとまらなかったり、話し合いが止まってしまうことがあります。次は、折り合いがつけられるように話し合いたいです。

事例のポイント③
 教科等横断的な視点を取り入れ、学級活動につなげる。本時で作成した提案シートを活用して、学級会でグループごとに係を提案していく。

評価規準

【思考・判断・表現①】
 発言・付箋・提案シート・振り返り

- ・常に目的や進め方を確認して話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめようとしている児童をBとする。
- 〈「努力を要する」状況 (C) への手立て〉
- ・話し合いの目的を復唱し、話し合いの型を活用したり、前時に仲間分けしたものを参考にしたりして、考えをまとめるように助言する。

評価規準

【主体的に学習に取り組む態度①】
 発言・振り返り

- ・進んで互いの意見を比較し分類して付箋を動かし、共通点や相違点を見つけて、まとめようとしている児童をBとする。
- 〈「努力を要する」状況 (C) への手立て〉
- ・友達の意見をよく聞き、自分はどう思うかを考えて発言するように助言する。

(4) 板書計画

こんな係がクラスにほしい

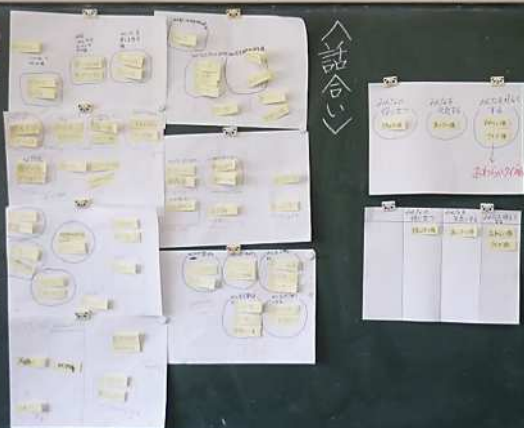
のあと
考えを一つにまとめて、しゅつかい
メモを書こう

◎話し合いの目次
「クラスみんなが学校生活をもっと
楽しくさせるように話し合おう」

◎進め方
③考えをまとめる%

- ・目で見たりしてより多くの人が
よいと考えた係をえらぶ。
- ・学びついでしゅつかいでできるだけよ
うにメモにまとめる。

〈話し合い〉



△話し合いが止まる時があった。
声の大きさをもっと大きくしたい。

◎話している人を見て聞いた。
みんなが考えて話し合えたから
またやりたい。